

## 地域連携課在宅支援係の紹介



在宅支援係長

あべ あきこ  
阿部 昭子

2019年4月から地域連携室が地域連携センターとなり、在宅支援係が立ち上がりました。昨年度まで相談支援係として活動していましたが、本年度から業務を一部見直し、多職種による在宅ケアを推進する活動を行っています。

在宅支援係の主な活動として、公費負担や社会福祉制度の利用支援の業務があります。患者サポート相談窓口については従来そのままですが、大きく変わった点は入退院支援に向けた関係機関との連携や在宅に関する新規事業の取組があります。今まで看護部で担当していた入退院支援が地域連携課に集約されたことで、病棟で、ご家族と話をしながら地域での社会福祉サー

ビスの調整を行い、在宅への移行支援を進めていけるようになりました。また、外来看護師が兼務職員として配属され、外来受診時の子どもやご家族の様子を知ることができ、使用されている在宅医療物品について家族の意見を聞き、見直しをするきっかけにもなっています。

在宅に関する新規事業としては、退院前後訪問や在宅療養後方支援などの取組を進めているところです。退院前後訪問は試行期間中ですが、同じく兼務職員として配属されている理学療法士が退院前にご自宅を訪問することで、ご家族の不安の解消にも役立ち、ご家族の反応も良いようです。

在宅支援係は、名称のとおり在宅に関する幅広い役割があり、未だ整理しきれない多くの課題を抱えています。子どもとご家族が安心して在宅生活を送れるよう、多職種で協力し一歩ずつ課題の整理に取り組んでいきたいと考えています。

## 楽しい夏祭り

令和元年7月26日（金）に「夏祭り花火大会」が行われました。

当日は午前中から雨が降り出したため、手稲養護学校の体育館での開催となり、盆踊りは体育館にやぐらをたてて、子どもたちが町内会の方と一緒に楽しみました。

最後の花火は、雨が小降りになったこともあり、無事屋外で行うことができました。

ご参加・ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



# 就任あいさつ



事務長

ふくはら やすひろ  
福原 靖博

6月から事務長として着任しました福原と申します。

コドモックルには開設時の平成19年9月から平成21年3月まで勤務させていただきましたので、約10年ぶり2度目のコドモックル勤務となります。

着任当日は、10数年前の開設準備や調整などでバ

タバタとしていた光景が懐かしく蘇ってきました。

ご存じのように、コドモックルは道内唯一の小児の高度専門医療と療育を担う政策的な施設です。

基本理念にあるように、将来を担う子どもたちの生命をまもり、健やかな成長・発達を支援するため、医師をはじめとした医療スタッフはもとより、センターに勤務する全ての職員が「一丸!」となって日々奮闘しています。

これからも道民の皆さんや医療機関の皆さんから安心と信頼をいただけるよう、センター長を先頭に職員とともに頑張ってまいりますので、宜しく願いいたします。

素敵なお花  
今年もありがとうございました



今年の夏も札幌稲穂高等支援学校の生徒の皆さんがコドモックルの敷地内に、お花を植えてくれました。

特に一階のプレイコーナーの窓からはきれいに咲く花を見ることができました。

札幌稲穂高等支援学校の皆様、ありがとうございました。